

# 緑区



## 第142回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策18区シリーズ・第17回」

令和元年11月6日(水) 「緑区・長津田歴史探訪」

\*集合：横浜線長津田駅(改札口) 9時50分厳守同時出発

\*解散：横浜線長津田駅

ゆるキャラ



ミドリ

区の花



シラン

区域は鶴見川流域に沿って東西に細長い。中央を鶴見川や JR 横浜線が東西に縦走している。鶴見川南側は丘陵地となり住宅地が多く、北側は緑産業道路って工業団地となっている。JR 横浜線や都市計画道路山下長津田線に沿って住宅地や団地が広がるが、南側丘陵部は近年宅地化された新興分譲地も多い。鶴見川と恩田川合流地点から上流は市内でも珍しい広大な農業用地となっており、稲作や梨生産が見られる。

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★緑区役所発行図書ほか

### ①随流院

随流院は曹洞宗(そうとうしゅう)のお寺で山号は陽向山(ようこうさん)。長蔦山長蔦寺(ながつたさんながつたじ)と号していたそうです。境内には昭和26年9月1日に創立開園した田奈保育園があります。

### ②大林寺

大林寺(だいにんじ)は、曹洞宗の寺院。詳名は慈雲山大林寺。長津田一帯を治めていた江戸幕府の旗本岡野家の菩提寺で、初代房恒の父板部岡江雪斎の開基と伝えられている。境内には市登録史跡の「旗本岡野家歴代の墓所」、長津田十景の「大林晚鐘」がある。晚鐘は夕靄に包まれた鐘の音を表現している。

### ③福寿稻荷(お七稻荷)

「八百屋お七」が祀られている。【伝説】お七が火あぶりになったのが天和三年(1683)三月と言われたこの事件を直接担当したのが、盗賊追捕役の中山勘解由ということになっています。この時同職にあった長津田の三代領主岡野房勝もいくぶん事件に関係したものかどうか定かではありませんが、岡野家にはお七稻荷が祭ってあったといえます。

### ④王子神社

江戸初期長津田初代の領主、岡野房恒の創建と言われ大石神社とともに長津田の鎮守となった。

社号は王子権現、明治になって若一王子神社、昭和に王子神社となった。祭神：伊弉諾命(いざなぎのみ

こと)・速玉男命(はやたまをのみこと)。

### ⑤福泉寺

寺伝によると文禄年間～慶長の頃(西暦1592～1600年)徳川家康に仕えた千五百石取りの旗本で、長津田初代の領主岡野房恒という殿様が開基となり、村の鎮守として勧請した王子権現の別当寺として開創、僧栄存の開山と伝えられます。関東88カ所霊場の第65番札所になります。

### ⑥天王社

天王社とその周辺は谷戸を隔てる丘陵の尾根に当たり、未だに都市の喧騒から隔てられた良い景色が広がっている。鳥のさえずりが美しい。

### ⑦二十三夜塔

旧暦十月二十三日の夜、人々が集まり月の出を待って拝み、供え物をした二十三夜待というぎょうじがありました。いわゆる月待で延命長寿と家内繁栄を祈ったといわれている。

### ⑧大石神社

当社の由緒は不詳。ただ新編武蔵風土記に載る所によると、元長津田村大石権現社を称し在原業平朝臣をまつたものとつたえられている。万有百科大事典によると、業平朝臣は平安朝前期の人(825～880)平城天皇の孫にあたらせ、古今の和歌の先駆をなし、美男で放縦な性格を持つとされて居る。御神体はだ円形の自然石である。

文責：神田恵仁

